「古(いにしえ)の宮 伝承地を巡る」 ～三輪山西南麓を歩く～

飛鳥に宮が移るまで、三輪山の西南麓には多くの大王の宮があったと伝えられ、大和王権の中心でした。
今回は、初瀬から三輪へ、第25代武烈天皇　泊瀬列城宮（ハツセナミキノミヤ）、第21代雄略天皇　泊瀬朝倉宮（ハツセアサクラノミヤ）、第29代欽明天皇　磯城嶋金刺宮（シキシマカナサシノミヤ）、第10代崇神天皇　磯城瑞籬宮（シキミズガキノミヤ）の順に巡ります。

ウォーキングルート

近鉄長谷寺駅🚻　→十二柱神社（武烈天皇　泊瀬列城宮伝承地）　→地福寺🚻　→出雲の流れ地蔵　→白山神社（雄略天皇　★泊瀬朝倉宮伝承地）　→春日神社・脇本遺跡（雄略天皇　★泊瀬朝倉宮跡）

→玉列神社🚻📷（昼食　12；00～12；40）　つらつら椿

→欽明天皇　磯城嶋金刺宮　→飾り馬📷　→仏教伝来地の碑　→海拓榴市観音堂🚻　→志貴御縣坐神社（崇神天皇　磯城瑞籬宮伝承地）　→ＪＲ三輪駅🚻

★　泊瀬朝倉宮　白山神社が宮の伝承地とされているが、発掘調査により脇本遺跡（春日神社）が宮跡が有力視されている。

（担当）　28期　稲見さま

近鉄長谷寺駅前

近鉄長谷寺駅前広場

近鉄長谷寺駅前広場にてサークル長点呼、担当者コース説明

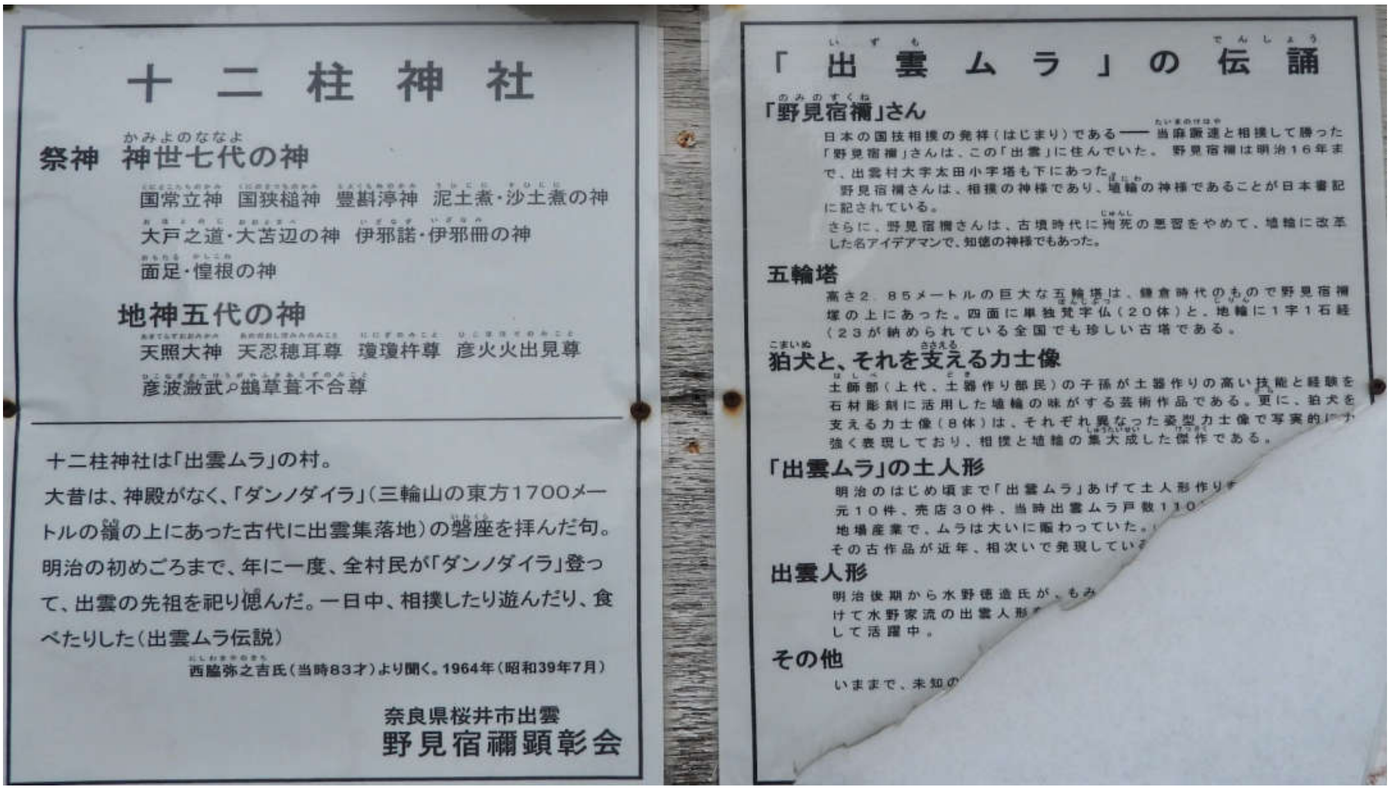
近鉄長谷寺駅前広場出発

道端のお地蔵さん

十二柱神社方面へ向う

サンシュユ

十二柱神社境内



十二柱神社境内

十二柱神社の説明(稲見さん)

（十二柱神社）大昔は神殿がなく古代の出雲集落にあったダンノダイラとよばれる磐座（いわくら）を祀っていた

狛犬と力士象は文久元年（1861）の
土師部（埴輪造り）の作とされています

野見宿禰が住んでいた場所と伝わり、鎌倉時代に五輪塔を建立

25代 武烈天皇 泊(はつ)瀬列(せなみ)城宮(きのみや)

紅梅

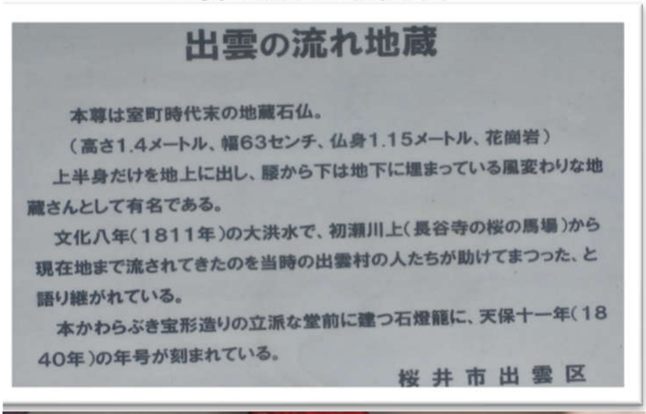
第25代武烈天皇が営んだ宮で、日本書紀による
と　壇場(たかきみくら)を泊瀬列城に設けたとあ

ツクシ

ホトケノザ

出雲の流れ地蔵方面へ

出雲の流れ地蔵



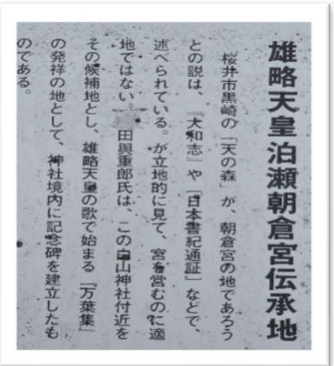
出雲の流れ地蔵

本尊は室町時代末の地蔵石仏。
（高さ1.4メートル、幅63センチ、仏身1.15メートル、花崗岩）
上半身だけを地上に出し、腰から下は地下に埋まっている風変わりな地蔵さんとして有名である。
文化八年（1811年）の大洪水で、初瀬川上（長谷寺の桜の馬場）から現在地まで流されてきたのを当時の出雲村の人たちが助けてまつった、と語り継がれている。
本かわらぶき宝形造りの立派な堂前に建つ石燈籠に、天保十一年（1840年）の年号が刻まれている。

桜井市出雲区

出雲の流れ地蔵

出雲の流れ地蔵



雄略天皇泊瀬朝倉宮伝承地

桜井市黒崎の「天の森」が、朝倉宮の地であろうとの説は、『大和志』や『日本書紀通証』などで、述べられている。が立地的に見て、宮を営むのに適地ではない。[illegible]田興重郎氏は、この白山神社付近をその候補地とし、雄略天皇の歌で始まる『万葉集』の発祥の地として、神社境内に記念碑を建立したものである。

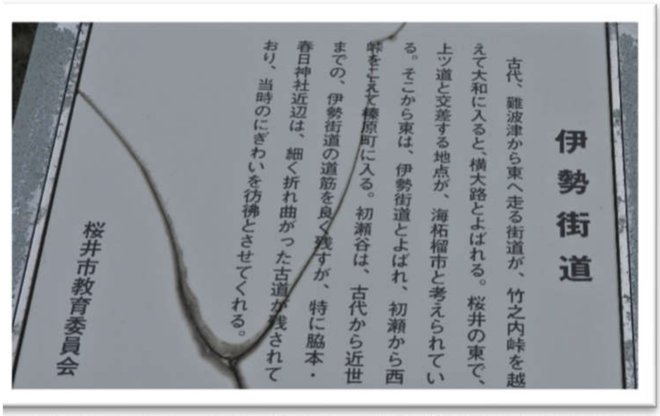
21代 雄略天皇 泊(はつ)瀬(せ)朝倉宮(あさくらのみや)

白山比咩神社境内

白山比咩神社の鳥居

春日神社方面へ向う

キンカン

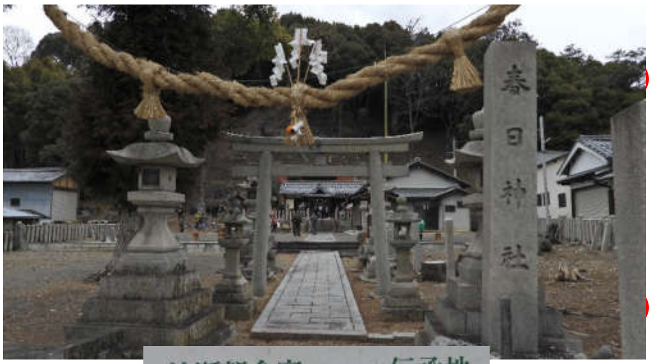

伊勢街道

古代、難波津から東へ走る街道が、竹之内峠を越えて大和に入ると、横大路とよばれる。桜井の東で、上ツ道と交差する地点が、海柘榴市と考えられている。そこから東は、伊勢街道とよばれ、初瀬から西峠を越えて榛原町に入る。初瀬谷は、古代から近世までの、伊勢街道の道筋を良く残すが、特に脇本・春日神社近辺は、細く折れ曲がった古道が残されており、当時のにぎわいを彷彿とさせてくれる。

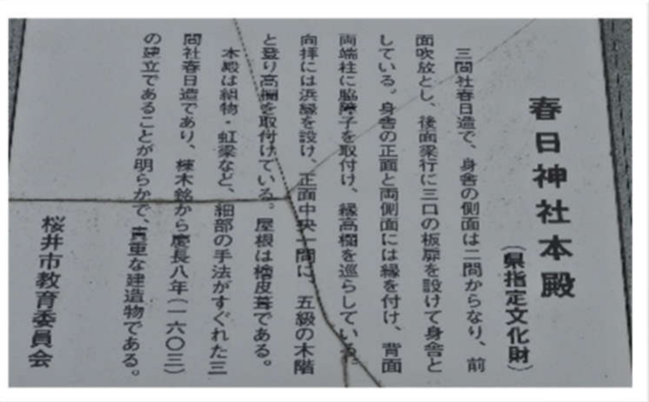
桜井市教育委員会

伊勢街道

脇本遺跡内にある春日神社



泊瀬朝倉宮(雄略天皇)伝承地
《記紀・万葉ゆかりの地》


春日神社本殿（県指定文化財）

三間社春日造で、身舎の側面は二間からなり、前面吹放とし、後面梁行に三口の板扉を設けて身舎としている。身舎の正面と両側面には縁を付け、背面両端柱に脇障子を取付け、縁高欄を巡らしている。向拝には浜縁を設け、正面中央一間に、五級の木階と登り高欄を取付けている。屋根は檜皮葺である。

本殿は組物・虹梁など、細部の手法がすぐれた三間社春日造であり、棟木銘から慶長八年（一六〇三）の建立であることが明らかで、貴重な建造物である。

桜井市教育委員会

春日神社

春日神社

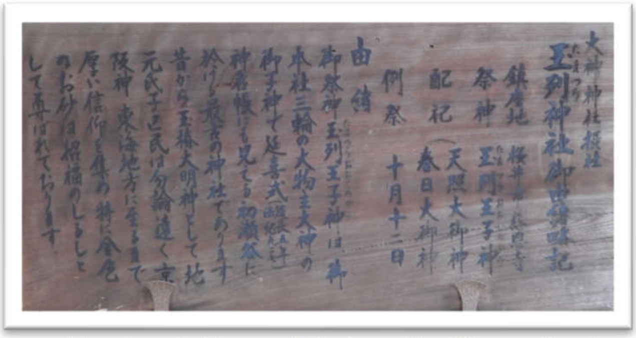
春日神社から玉列神社方面へ向う

玉列(たまつら)神社方面へ

道標

玉列(たまつら)神社近くのお地蔵さん

玉列(たまつら)神社（大神神社の摂社）



「万葉集」に「つらつら椿」と歌われる「玉椿」の名所

玉列神社の本殿

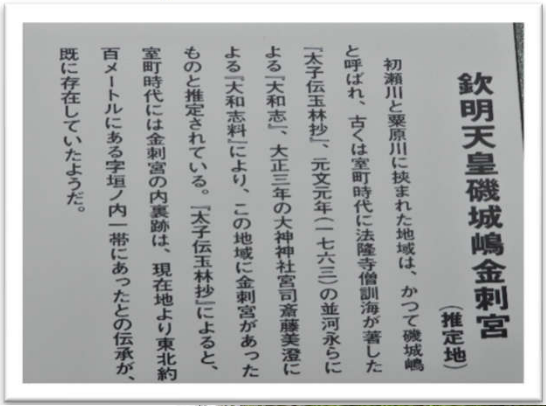
昼食休憩中

「誕生さん（誕生石）」子宝石として慕われている。安産や子育てを願う。

29代 欽明天皇 磯城嶋(しきしま)金)刺宮(かなさしのみや)方面へ向う

29代 欽明天皇 磯城嶋(しきしま)金刺宮(かなさしのみや)で稲見さんにより説明

稲見さんにより説明



欽明天皇磯城嶋金刺宮（推定地）

初瀬川と粟原川に挟まれた地域は、かつて磯城嶋と呼ばれ、古くは室町時代に法隆寺僧訓海が著した『太子伝玉林抄』、元文元年（一七六三）の並河永らによる『大和志』、大正三年の大神神社宮司斎藤美澄による『大和志料』により、この地域に金刺宮があったものと推定されている。『太子伝玉林抄』によると、室町時代には金刺宮の内裏跡は、現在地より東北約百メートルにある字垣ノ内一帯にあったとの伝承が、既に存在していたようだ。

磯城嶋金刺宮推定値

鋳馬（かざりうま）方面へ向う

錺馬（かざりうま）

稲見さんにより説明

佛教伝来之地の碑

夕さらば　かはず鳴くなる　三輪川の　清き瀬の音を　聞かくし良しも

夕方になると、いつもカジカの鳴く声のする三輪川の、清いたぎつ瀬の音を聞くのは何ともいえずいい気持ちだ。

「海石榴市（つばいち）観音堂」方面へ向う

「海石榴市（つばいち）観音堂」方面へ向う

「海石榴市（つばいち）観音堂」方面へ向う

「海石榴市（つばいち）観音堂」方面へ向う

堂内の仏堂

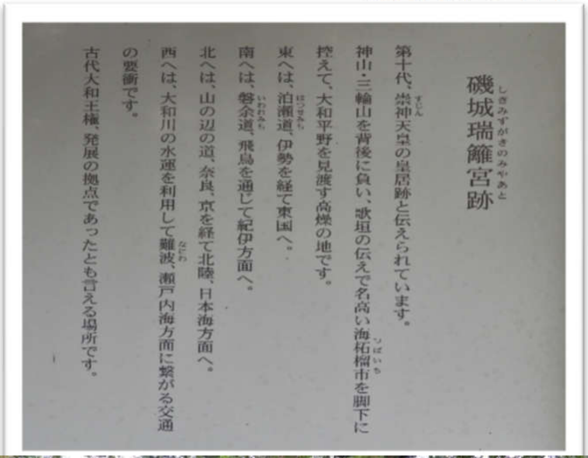
右側が十一面観音立像、左側が聖観音菩薩立像

堂内の仏堂

「海石榴市観音堂」境内の石仏

志貴御県坐神社方面へ向う

志貴御県坐神社（しきみあがたにますじんじゃ）

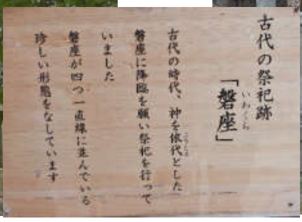


崇神天皇 磯城瑞籬宮伝承地

10代 崇神天皇 磯城瑞籬宮(しきみずがきのみや)伝承地

狛犬

本殿



磐座（いわくら）

休憩

サークル長、来期の説明及び解散挨拶

JR三輪駅方面へ

三輪山平等寺

JR三輪駅方面へ（前方に二上山、手前に耳成山が見える）

JR三輪駅

担当の稲見様案内説明有難う御座いました。

資　料

十二柱神社

・第25代武烈天皇が営んだ泊瀬列城宮（ハツセナミキノミヤ）伝承地である。

・国常立神（くにとこたちのかみ）など神世七代の神々と天照大神などの地神五代の神々、あわせて十二柱の神々を祀る

・出雲の集落は当麻蹴速（たいまのけはや）とのわが国最初の展覧相撲で勝利した野見宿禰（のみのすくね）を祖としている。

・狛犬を4人の力士がささえている。

・五輪塔は鎌倉時代初期のもので、高さ2.85mあり、4側面に単独梵字仏を彫り、地輪に一字一石経を納める、珍しいものである。

地福寺

・地蔵石仏群

出雲の流れ地蔵

・文化8年（1811）の大洪水で流れてきたとされる。上半身だけ地上にでている。

白山神社

・白山比咩神社（しらやまひめじんじゃ）

・第21代雄略天皇が営んだ泊瀬朝倉宮（ハツアサクラノミヤ）伝承地である。

・万葉集発祥の地の石碑がある。

・雄略天皇歌碑　　万葉集巻1-1

籠(こ)もよ　み籠持ち　ふくしもよ　みぶくし持ち
この丘に　菜摘ます児　家聞かな　名告らさね
そらみつ　大和の国は　おしなべて
吾こそませ　吾こそは　告らめ　家をも名をも

訳すると、かごよ、よいかごをもち、堀串（へら）よ、よい堀串をもって、この岳で若菜を摘んでいる乙女よ。名前をおっしゃい。この大和の国は、すべて私が所有している。いちめんに私が治めているのだ。この私からまず名乗ろう。家をも名をもという意味になります。

春日神社

・脇本遺跡（別紙資料）の中のある

・慶長8年（1603）建立、三間春日造り、奈良県指定文化財

・近くに万葉歌碑がある。

・伊勢街道に面している。（近くに説明板）

玉列神社（たまつらじんじゃ）

・祭神の玉列王子神（たまつらおうじのかみ）は、三輪の大物主大神（おおものぬしのかみ）の御子神（みこがみ）で、円満成就、延命長寿の神様

・椿の名所で毎年3月末に椿まつり

・金色の御砂

・誕生石（たんじょうさん）と呼ばれる磐座

第29代欽明天皇　磯城嶋金刺宮

・初瀬川の左岸にあります。

海拓榴市

・4世紀から7世紀の400年の日本最大級の巷（ちまた）（人々が行き交うため、人々が集まりに賑わう場所）であった。八十のちまた

・物品を交換したり商いを行う市が立った。

・男女が出会う歌垣が開かれた。

・刑場となり、役所が置かれ、外国の使節を歓迎する儀式も行われた。

日本書紀には

・武烈天皇と影媛（物部麁鹿火の娘）と平群鮪（しび）の三角関係

・物部守屋が尼僧を鞭打ちの刑

・三輪君逆が殺される（炊屋姫）

・隋の使節　裴世清一行を飾り馬で歓迎する。

飾り馬

・隋の使節　裴世清一行を迎えた飾り馬　推古16年（608）の8月に海拓榴市の衢に

仏教伝来地の碑

・欽明天皇の時代、百済から使者が大和川を遡り、この地に仏教を伝えたといわれる。

海拓榴市観音堂

・観音堂内に２体の石仏　向かって右側が十一面観音立像、左側が聖観音菩薩立像

志貴御縣坐神社

・第10代崇神天皇が営んだ磯城瑞籬宮（シキミズガキノミヤ）伝承地である。

・古代の祭祀跡「磐座」があります。